

監査公表第7号

地方自治法第199条第1項及び第4項の規定により実施した定期監査の結果に関する報告を決定したので、同条第9項の規定に基づきこれを公表します。

平成31年(2019年)2月15日

城陽市監査委員 川村 和久

城陽市監査委員 谷 直樹

平成30年度(2018年度)定期監査の結果報告について

地方自治法第199条第1項及び第4項の規定による平成30年度(2018年度)定期監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果に関する報告を次のとおり提出します。

なお当該監査の結果に基づき措置を講じたときは、地方自治法第199条第12項の規定により、その旨を監査委員まで速やかにご報告願います。

第1 監査の種類

地方自治法第199条第1項及び第4項の規定による定期監査

第2 監査の対象

平成30年(2018年)4月から平成30年(2018年)7月までに執行された財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理(必要に応じて期間前の事務事業を含む)

平成28年度(2016年度)から平成30年度(2018年度)までにおける市の事務の執行(行政監査を兼ねる)

第3 監査の実施期間

平成30年(2018年)7月31日から平成31年(2019年)2月12日まで

第4 監査の対象部局

I 危機・防災対策課

II 企画管理部(秘書広報課、政策企画課、人事課)

III 福祉保健部(福祉課、高齢介護課、健康推進課、子育て支援課(保育園を含む)、国保医療課)

IV 上下水道部(経営管理課、上下水道課)

V 議会事務局

第5 監査の方法

財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理並びに市の事務の執行が、法令等に基づいて適正かつ効率的、合理的に行われたかを主眼に、抽出した事項を対象に関係諸帳簿及び証拠書類を審査し、関係職員から説明を聴取して監査を実施した。

第6 監査の結果

事務の執行等については、おおむね適正に処理されているものと認められた。ただし、一部の事務については、以下に示すように改善及び検討を要する事例が見受けられたので、今後、適正な事務処理に努められたい(指摘事項として記載)。指摘事項に至らない事例については、要望等として記載しており、事務執行の参考とされたい。

I 個別指摘事項等

1 市長直轄組織

(1) 危機・防災対策課（説明聴取日：平成30年10月9日）

① 指摘事項は、次のとおりである。

ア 平成29年度、平成30年度の公用車運行日誌の簿冊を閲覧したところ、始業点検時の日付の漏れ、修正液の使用を見受けた。また、訂正箇所には訂正印の漏れを見受けた。

公用車の管理にあたり、公用車運行日誌兼運行前点検表として、記録を必要とする項目が定められており、また、公用車運行時のトラブルを未然に防ぐため、適切な運行日誌として整理、保管されたい。

イ 所属長は、時間外勤務の事前命令にあたり、従事する業務が時間外業務として行う必要があるのかどうかについて、十分に把握して行う必要があるが、具体的な従事事務内容の記載が無く、事前命令、承認が繰り返し行われているものを見受けた。

平成30年5月31日付け、「平成30年度 職員の健康管理対策の取り組みについて」により、従事事務内容の具体的明記を求めているので、適切な時間外勤務命令による手当の執行とするために、通知内容を再度、確認されたい。

② 予算執行状況は、次表のとおりである。（平成30年7月31日現在）

<歳入>

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 13,100,000	円 0	円 0	% 0.0	% 0.0

<歳出>

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
防災資機材の整備に係る経費	7,058,000	870,583	12.3
同報系防災行政無線の整備に係る経費	11,200,000	0	0.0
その他の経費	17,883,000	2,782,116	15.6
合計	36,141,000	3,652,699	10.1

③ 監査委員の要望及び意見は、次のとおりである。

特に要望及び意見すべき事項は見られなかった。

2 企画管理部

(1) 秘書広報課（説明聴取日：平成30年10月17日）

① 指摘事項は、次のとおりである。

平成29年度、平成30年度の公用車運行日誌の簿冊を閲覧したところ、車両主任確認、始業点検の漏れを見受けた。

公用車の管理にあたり、公用車運行日誌兼運行前点検表として、記録を必要とす

る項目が定められており、また、公用車運行時のトラブルを未然に防ぐため、適切な運行日誌として整理、保管されたい。

② 予算執行状況は、次表のとおりである。（平成30年7月31日現在）

〈歳入〉

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 3,545,000	円 2,943,480	円 2,857,480	% 80.6	% 97.1

〈歳出〉

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
都市提携に係る経費	15,461,000	13,407,462	86.7
広報じょうようの発行に係る経費	14,303,000	3,556,556	24.9
その他の経費	37,238,000	8,334,178	22.4
合計	67,002,000	25,298,196	37.8

③ 監査委員の要望及び意見は、次のとおりである。

ア 市長交際費は、通帳により出納状況を把握していたが、金庫内における現金の保有状況についての把握が不十分と考えられる。公金の紛失等を未然に防止するため、さらなる安全管理に努められたい。

イ ホームページバナー広告掲載料は、前年度に比べ減額が見込まれている。

今後の見込みについても厳しい状況にあると説明を受けたが、新市街地の進出企業にも周知を図るなど、あらゆる機会を捉え、増収対策を図られたい。

ウ コミュニティFM事業は、平成12年9月からの長期にわたり、市の広報番組の制作・放送業務を法に基づき、認可を受けたエフエム宇治放送株式会社に委託により実施している。近隣市町等と資本参加をし、役員を派遣している公的性格を持つ企業であり、災害発生時における迅速な防災情報の提供、きめ細やかな行政情報の提供を行っているが、市民にあまり知られていない。

コミュニティFM事業の周知方法にさらなる工夫を加え、利用の機会を増やすことに努められたい。

エ 国際交流協会では、映像を取り入れたごみの分別方法のお知らせ、ごみカレンダー多言語化の取組があり、在住外国人に対して住みよい多文化共生のまちづくりのための事業を展開している。

今後において、身近な協会として広く知ってもらい、事業に参加された多くの市民の声を積極的に発信し、会員の増加に繋がる魅力ある企画の実施に期待する。

(2) 政策企画課（説明聴取日：平成30年10月2日）

① 指摘事項は、次のとおりである。

特に指摘すべき事項は見られなかった。

② 予算執行状況は、次表のとおりである。（平成30年7月31日現在）

<歳入>

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 1,000	円 0	円 0	% 0.0	% 0.0

<歳出>

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
文化パーク城陽の施設借上に係る経費	400,138,000	531,440	0.1
一般管理に係る経費(時間外勤務手当)	1,111,000	310,734	28.0
その他の経費	1,632,000	197,576	12.1
合計	402,881,000	1,039,750	0.3

- ③ 監査委員の要望及び意見は、次のとおりである。
特に要望及び意見すべき事項は見られなかった。

(3) 人事課(説明聴取日:平成30年10月2日)

- ① 指摘事項は、次のとおりである。
特に指摘すべき事項は見られなかった。
- ② 予算執行状況は、次表のとおりである。(平成30年7月31日現在)

<歳入>

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 238,729,000	円 5,009,077	円 2,243,109	% 0.9	% 44.8

<歳出>

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
一般管理に係る経費(正規職員人件費)	3,339,888,000	1,130,082,004	33.8
基金の積立に係る経費	205,927,000	0	0.0
その他の経費	151,681,000	33,739,245	22.2
合計	3,697,496,000	1,163,821,249	31.5

- ③ 監査委員の要望及び意見は、次のとおりである。
従前より、台風の通過予報が出された時は、緊急時における臨時の職員体制をもって、早期の安全確保に取り組んでいる。
今後において、市に及ぼす災害による影響の長期化への準備として、災害対策に従事する職員の健康管理、交代要員の在り方等を考慮した職員体制の構築を望む。

3 福祉保健部

(1) 福祉課(説明聴取日:平成30年10月11日)

- ① 指摘事項は、次のとおりである。

ア 生活保護の相談受付に係る業務のための経費では、多くの切手を事前に購入し、業務の連絡等のために使用している。切手の保管状況は、鍵のかかる書庫において、安全に管理されていた。しかし、切手の使用状況は、切手払い出し管理簿によって確認ができたが、確認者が明確でなかった。

さらなる安全管理のため、改善を図られたい。

イ 所属長は、時間外勤務の事前命令にあたり、従事する業務が時間外業務として行う必要があるのかどうかについて、十分に把握して行う必要があるが、具体的な従事事務内容の記載が無く、事前命令、承認が繰り返し行われているものを見受けた。

平成30年5月31日付け、「平成30年度 職員の健康管理対策の取り組みについて」により、従事事務内容の具体的明記を求めているので、適切な時間外勤務命令による手当の執行とするために、通知内容を再度、確認されたい。

② 予算執行状況は、次表のとおりである。（平成30年7月31日現在）

〈歳入〉

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 2,555,706,000	円 752,514,955	円 446,162,537	% 17.5	% 59.3

〈歳出〉

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
障がい者の自立支援に係る経費	1,461,094,000	352,770,696	24.1
生活保護費の支給に係る経費	1,428,029,000	477,738,245	33.5
その他の経費	674,716,000	212,746,116	31.5
合計	3,563,839,000	1,043,255,057	29.3

③ 監査委員の要望及び意見は、次のとおりである。

事務分担は、細かな業務に区分され、正規職員、嘱託職員が同じ業務を担当している。個々の業務の実施においては、勤務日、勤務時間等が異なることから、日々の報告等は欠かせない。

また、医療券、介護券の発行等をはじめ、多くの個人情報に携わっているので、取り扱いに注意を払い、リスクの防止と円滑な業務連携に努められたい。

(2) 高齢介護課（説明聴取日：平成30年10月2日）

① 指摘事項は、次のとおりである。

ア 平成29年度、30年度の公用車運行日誌の簿冊を閲覧したところ、車両主任確認、車両番号、車種、1日走行距離数、始業点検の漏れを見受けた。また、鉛筆書きを見受けた。

公用車の管理にあたり、公用車運行日誌兼運行前点検表として、記録を必要とする項目が定められており、また、公用車運行時のトラブルを未然に防ぐため、適切な運行日誌として整理、保管されたい。

イ 城陽市高齢者クラブ連合会の第3号議案 平成29年度 特別会計（積立金）収支決算報告書は、積立金としての記載があるが、使途目的が記載されていないので、改善を図るよう指導されたい。

② 予算執行状況は、次表のとおりである。（平成30年7月31日現在）

〔一般会計〕

〈歳入〉

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 26,731,000	円 12,613,634	円 9,420,854	% 35.2	% 74.7

〈歳出〉

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
老人福祉センターの管理運営に係る経費	87,931,000	49,894,250	56.7
介護保険事業に係る経費	818,440,000	455,068,610	55.6
その他の経費	103,133,000	18,365,714	17.8
合計	1,009,504,000	523,328,574	51.8

〔介護保険事業特別会計〕

〈歳入〉

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 5,897,919,000	円 5,962,960,502	円 2,236,327,010	% 37.9	% 37.5

〈歳出〉

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
居宅介護等サービス給付費に係る経費	1,718,004,000	378,541,585	22.0
施設介護等サービス給付費に係る経費	1,846,221,000	414,789,521	22.5
その他の経費	2,332,478,000	517,721,639	22.2
合計	5,896,703,000	1,311,052,745	22.2

③ 監査委員の要望及び意見は、次のとおりである。

平成29年度単位高齢者クラブの収支決算書の中には、総収入額、総支出額、差引残額の記入誤り、訂正箇所へ訂正印の漏れを見受けた。

補助金の交付事務では、事業年度終了に伴う実績報告書等を短期間に多くの団体から提出を受けるので、効率的な審査に努められたい。

(3) 健康推進課（説明聴取日：平成30年10月11日）

① 指摘事項は、次のとおりである。

ア 平成30年度の公用車運行日誌の簿冊を閲覧したところ、始業点検に鉛筆書きを見受けた。

公用車の管理にあたり、公用車運行日誌兼運行前点検表として、記録を必要とす

る項目が定められており、また、公用車運行時のトラブルを未然に防ぐため、適切な運行日誌として整理、保管されたい。

イ 所属長は、時間外勤務の事前命令にあたり、従事する業務が時間外業務として行う必要があるのかどうかについて、十分に把握して行う必要があるが、具体的な従事事務内容の記載が無く、事前命令、承認が繰り返し行われているものを見受けた。

平成30年5月31日付け、「平成30年度 職員の健康管理対策の取り組みについて」により、従事事務内容の具体的明記を求めているので、適切な時間外勤務命令による手当の執行とするために、通知内容を再度、確認されたい。

② 予算執行状況は、次表のとおりである。（平成30年7月31日現在）

〔一般会計〕

〈歳入〉

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 49,315,000	円 2,031,238	円 2,031,238	% 4.1	% 100.0

〈歳出〉

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
小児等の予防接種に係る経費	111,432,000	23,159,152	20.8
高齢者の予防接種に係る経費	62,674,000	4,607,731	7.4
その他の経費	194,435,000	19,934,219	10.3
合計	368,541,000	47,701,102	12.9

〔国民健康保険事業特別会計〕

〈歳出〉

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
いきいき健康づくりに係る経費	591,000	0	0.0
前立腺検診等に係る経費	9,398,000	109,511	1.2
特定健診・特定保健指導に係る経費	77,082,000	741,831	1.0
合計	87,071,000	851,342	1.0

〔介護保険事業特別会計〕

〈歳出〉

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
介護予防の普及啓発に係る経費	1,164,000	72,482	6.2
地域介護予防活動の支援に係る経費	52,000	0	0.0
合計	1,216,000	72,482	6.0

③ 監査委員の要望及び意見は、次のとおりである。

各種検診等の業務では、多くの市民の情報に携わっている。日々、業務終了後、執務室が施錠され、個人情報に関するリスクの防止に努めている。

しかし、関係する簿冊の一部は、常時見える状態で執務室内の棚に保管されていたので、さらなる安全管理のため、保管の方法を検討されたい。

(4) 子育て支援課（説明聴取日：平成30年10月17日）

① 指摘事項は、次のとおりである。

ア 平成29年度の公用車運行日誌の簿冊を閲覧したところ、車両主任確認の漏れを見受けた。

公用車の管理にあたり、公用車運行日誌兼運行前点検表として、記録を必要とする項目が定められており、また、公用車運行時のトラブルを未然に防ぐため、適切な運行日誌として整理、保管されたい。

イ 平成29年度学童保育所開所前管理等業務は、公益社団法人 城陽市シルバー人材センターへの委託により事業を実施している。毎月委託事業者から、「学童保育所開所前管理等業務報告書」が作成され、児童数、特記事項（児童の様子等）の報告を受けているが、実施年度と報告年度が誤っているものを見受けた。

また、各学童保育所の担当者によって、記載する内容に大きな違いがあるのを見受けた。業務の実施目的を明確にし、簡潔な報告書となるよう改善を図られたい。

② 予算執行状況は、次表のとおりである。（平成30年7月31日現在）

<歳入>

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 2,119,123,000	円 1,147,851,004	円 465,802,105	%	%
			22.0	40.6

<歳出>

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
児童手当の支給に係る経費	1,139,610,000	372,808,364	32.7
民間保育所に係る経費	1,177,221,000	412,321,063	35.0
その他の経費	1,305,121,000	379,478,752	29.1
合計	3,621,952,000	1,164,608,179	32.2

③ 監査委員の要望及び意見は、次のとおりである。

重要施策の執行状況では、新規事業として移動式赤ちゃんの駅貸出事業があり、子育てしやすい環境づくりを進めている。各種イベント等に貸し出し可能な授乳・おむつ替え用テントを購入し、城陽秋花火大会の会場で使用したと説明を受けたところである。

今後において、積極的に子育てしやすい環境づくりのための施策を展開し、府内

の市町村で初めての取組がしっかりと定着したものになるよう期待する。

(5) 国保医療課（説明聴取日：平成30年10月11日）

① 指摘事項は、次のとおりである。

ア 平成30年度の公用車運行日誌の簿冊を閲覧したところ、始業点検の漏れを見受けた。

公用車の管理にあたり、公用車運行日誌兼運行前点検表として、記録を必要とする項目が定められており、また、公用車運行時のトラブルを未然に防ぐため、適切な運行日誌として整理、保管されたい。

イ 所属長は、時間外勤務の事前命令にあたり、従事する業務が時間外業務として行う必要があるのかどうかについて、十分に把握して行う必要があるが、具体的な従事事務内容の記載が無く、事前命令、承認が繰り返し行われているものを見受けた。

平成30年5月31日付け、「平成30年度 職員の健康管理対策の取り組みについて」により、従事事務内容の具体的明記を求めているので、適切な時間外勤務命令による手当の執行とするために、通知内容を再度、確認されたい。

② 予算執行状況は、次表のとおりである。（平成30年7月31日現在）

〔一般会計〕

〈歳入〉

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 776,284,000	円 9,065,646	円 5,027,646	%	%
			0.6	55.5

〈歳出〉

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
国民健康保険事業に係る経費	650,046,000	2,854,067	0.4
後期高齢者医療保険事業に係る経費	1,009,565,000	280,215,112	27.8
その他の経費	615,556,000	163,058,077	26.5
合計	2,275,167,000	446,127,256	19.6

〔国民健康保険事業特別会計〕

〈歳入〉

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 9,124,668,000	円 9,048,137,727	円 2,575,385,119	%	%
			28.2	28.5

<歳出>

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
一般被保険者療養給付費に係る経費	5,778,549,000	1,390,609,888	24.1
一般被保険者医療給付費納付金に係る経費	1,494,664,000	199,291,281	13.3
その他の経費	1,764,384,000	418,687,051	23.7
合計	9,037,597,000	2,008,588,220	22.2

[後期高齢者医療特別会計]

<歳入>

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円	円	円	%	%
1,178,944,000	997,182,512	259,891,523	22.0	26.1

<歳出>

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
保険料の納付に係る経費	1,176,137,000	232,975,182	19.8
過年度保険料の還付に係る経費	1,000,000	682,235	68.2
その他の経費	1,807,000	523,219	29.0
合計	1,178,944,000	234,180,636	19.9

③ 監査委員の要望及び意見は、次のとおりである。

事務分担は、細かな業務に区分され、正規職員、嘱託職員が同じ業務を担当している。個々の業務の実施においては、勤務日、勤務時間等が異なることから、日々の報告等は欠かせない。

また、高齢受給者証、限度額適用認定証の発行等をはじめ、多くの個人情報に携わっているため、取り扱いに注意を払い、リスクの防止と円滑な業務連携に努められたい。

4 上下水道部

(1) 経営管理課（説明聴取日：平成30年10月9日）

① 指摘事項は、次のとおりである。

平成30年度の公用車運行日誌の簿冊を閲覧したところ、訂正箇所には訂正印の漏れを見つけた。

公用車の管理にあたり、公用車運行日誌兼運行前点検表として、記録を必要とする項目が定められており、また、公用車運行時のトラブルを未然に防ぐため、適切な運行日誌として整理、保管されたい。

② 予算執行状況は、次表のとおりである。（平成30年7月31日現在）

[水道事業会計]

<収益的収入>

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 1,368,686,000	円 380,999,143	円 296,034,140	% 21.6	% 77.7

<資本的収入>

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 401,801,000	円 131,000	円 131,000	% 0.0	% 100.0

<総合計(収益的収入+資本的収入)>

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 1,770,487,000	円 381,130,143	円 296,165,140	% 16.7	% 77.7

[建設改良費繰越] <資本的収入>

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 78,000,000	円 0	円 0	% 0.0	% 0.0

<収益的支出>

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
総係費	円 126,483,000	円 27,029,896	% 21.4
減価償却費	円 440,746,000	円 0	% 0.0
その他の経費	円 228,865,000	円 26,552,044	% 11.6
合計	円 796,094,000	円 53,581,940	% 6.7

<資本的支出>

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
事務費	円 25,497,000	円 8,215,409	% 32.2
償還金	円 279,315,000	円 0	% 0.0
その他の経費	円 21,755,000	円 216,000	% 1.0
合計	円 326,567,000	円 8,431,409	% 2.6

総合計 (収益的支出+資本的支出)	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円 1,122,661,000	円 62,013,349	% 5.5

③ 監査委員の要望及び意見は、次のとおりである。

ア 水道事業ビジョンの作成業務は、上下水道部全体に関わる大変重要なものであるため、現在の進捗等について確認を行ったところ、安定した水道事業の経営の

ため、水道施設、基幹管路の耐震性の確保と耐震化率の引き上げ、財政基盤の強化、将来負担の公平性等具体的に施策を見直すため、水道事業ビジョンを平成30年度に策定していく予定であると説明を受けた。

前回の水道ビジョンは、平成21年3月に策定され、計画期間を平成21年度から平成28年度の8年間と定められていた。水道事業ビジョンは、計画期間の満了後から1年経過後の策定となっている。これは、他の計画との整合性や目標数値の設定等さまざまな要因が重なり、計画期間内で策定できなかったものと思われるが好ましくない。

今後、市民には、水道事業の経営にかかる現状分析と課題等について、ていねいな説明が行われ、水道事業ビジョンの理解がすすむことを望む。

イ 従前より、量水器取替業務は、城陽市公認上下水道協同組合との随意契約により実施されている。随意契約方式を適用することとした場合は、その理由が十分に整理されたものでなければならない。随意契約の理由は、市内の地理および給水装置場所の熟知と取替前後の漏水や使用者へのアフターケアへの迅速な対応、また、多くの量水器の短期間での取替が個々の事業者では対応が困難なため、組合に加入の市内業者による対応が必要であるとしている。確かに、個々の事業者の営業規模から、短期間かつ量的な取替に支障となるかもしれないが、量水器取替地域、取替個数の特定等、発注に工夫を図れば可能と考えられる。

契約方法については、量水器の取替が可能な城陽市指定給水装置工事事業者に発注ができるよう、公平性の保持と事務も含めた経済性の観点から、検討を望む。

ウ 市民から寄せられた声は、水道事業のサービス向上に反映させていると説明を受けたが、受付日、対応者、対応の方法、処理日等が主に料金システム上で記録されていることから、料金係の情報にとどまっていた。

今後において、水道事業の経営のための施策として活用を図る必要があるので、職員間で情報共有できるような記録簿として整理、保管されることを望む。

(2) 上下水道課（説明聴取日：平成30年10月9日）

① 指摘事項は、次のとおりである。

ア 平成29年度、30年度の公用車運行日誌の簿冊を閲覧したところ、運行前点検の漏れ、修正液の使用、鉛筆書きを見受けた。また、訂正箇所には訂正印の漏れを見受けた。

公用車の管理にあたり、公用車運行日誌兼運行前点検表として、記録を必要とする項目が定められており、また、公用車運行時のトラブルを未然に防ぐため、適切な運行日誌として整理、保管されたい。

イ 所属長は、時間外勤務の事前命令にあたり、従事する業務が時間外業務として行う必要があるのかどうかについて、十分に把握して行う必要があるが、具体的な従事事務内容の記載が無く、事前命令、承認が繰り返し行われているものを見受けた。

平成30年5月31日付け、「平成30年度 職員の健康管理対策の取り組みに

ついて」により、従事事務内容の具体的明記を求めているので、適切な時間外勤務命令による手当の執行とするために、通知内容を再度、確認されたい。

② 予算執行状況は、次表のとおりである。（平成30年7月31日現在）

〔水道事業会計〕

<収益的収入>

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 86,126,000	円 29,999,909	円 23,170,764	% 26.9	% 77.2

<資本的収入>

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 30,379,000	円 11,307,816	円 8,049,456	% 26.5	% 71.2

<総合計(収益的収入+資本的収入)>

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 116,505,000	円 41,307,725	円 31,220,220	% 26.8	% 75.6

<収益的支出>

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
原水及び浄水費	円 453,042,000	円 95,179,386	% 21.0
配水及び給水費	115,373,000	14,511,616	12.6
合計	568,415,000	109,691,002	19.3

<資本的支出>

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
建設改良費	円 562,234,000	円 278,984	% 0.0
合計	562,234,000	278,984	0.0
総合計 (収益的支出+資本的支出)	円 1,130,649,000	円 109,969,986	% 9.7

〔建設改良費繰越〕<資本的支出>

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
建設改良費	円 197,367,000	円 28,977,480	% 14.7

〔下水道事業会計〕

＜収益的收入＞

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 2,261,700,000	円 924,965,145	円 799,712,293	% 35.4	% 86.5

＜資本的收入＞

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 1,447,827,000	円 127,876,000	円 125,126,000	% 8.6	% 97.8

＜総合計(収益的收入+資本的收入)＞

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 3,709,527,000	円 1,052,841,145	円 924,838,293	% 24.9	% 87.8

〔建設改良費繰越〕＜資本的收入＞

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 55,500,000	円 0	円 0	% 0.0	% 0.0

＜収益の支出＞

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
流域下水道費	507,375,000	123,704,998	24.4
減価償却費	863,135,000	0	0.0
その他の経費	551,314,000	32,828,527	6.0
合計	1,921,824,000	156,533,525	8.1

＜資本的支出＞

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
管渠布設費	76,308,000	1,310,796	1.7
償還金	2,234,533,000	211,622,250	9.5
その他の経費	130,118,000	4,850,000	3.7
合計	2,440,959,000	217,783,046	8.9

総合計 (収益的支出+資本的支出)	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
	4,362,783,000	374,316,571	8.6

〔建設改良費繰越〕＜資本的支出＞

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
管渠布設費	55,549,000	9,540,000	17.2

③ 監査委員の要望及び意見は、次のとおりである。

各係で定めた事務分担は、細かな業務に区分され、正規職員、嘱託職員が同じ業務を担当している。

個々の業務の実施においては、勤務日、勤務時間等が異なることから、日々の報告等は欠かせないので、リスクの防止と円滑な業務連携に努められることを望む。

5 議会事務局

(1) 議会事務局（説明聴取日：平成30年10月17日）

① 指摘事項は、次のとおりである。

特に指摘すべき事項は見られなかった。

② 予算執行状況は、次表のとおりである。（平成30年7月31日現在）

〈歳入〉

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 360,000	円 180,000	円 180,000	% 50.0	% 100.0

〈歳出〉

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
議員事務に係る経費	円 189,835,000	円 71,453,978	% 37.6
議会事務に係る経費	8,990,000	1,998,226	22.2
その他の経費	17,434,000	3,700,996	21.2
合計	216,259,000	77,153,200	35.7

③ 監査委員の要望及び意見は、次のとおりである。

ア 議長交際費は、通帳により出納状況を把握していたが、金庫内における現金の保有状況についての把握が不十分と考えられる。公金の紛失等を未然に防止するため、さらなる安全管理に努められたい。

イ 会議映像の配信に係る業務、会議録の公開に係る業務、委員会記録の公開に係る業務のための経費があるので、市民等の利用状況を確認した。

本会議のライブ中継では、パソコンからの利用に加え、平成28年度からはスマートフォンからの利用も可能となり、利用件数が大きく伸びている。

また、議会改革に関する事業の推進等により、本会議への市民による傍聴の人数も増えている。

今後においても、議会活動の透明性、活性化のための環境整備に努められたい。

ウ 備品の現地審査では、昭和55年購入のテープレコーダー、昭和61年購入のカセットテープレコーダーを管理していたので、業務の有無、使用の頻度、点検の有無等を確認したところ、業務としての使用はないと説明を受けた。

備品の管理にあたっては、倉庫内の限られたスペースの有効活用を図られたい。

II 定期監査を終えて（監査委員の要望及び意見）

- 1 多くの職員が共同で業務を担当する場合や個人情報に携わる場合は、情報の連携と管理が欠かせない。

これまでと同様、情報にかかるリスク削減と円滑な連絡・相談体制の構築に努められたい。

- 2 時間外勤務を行う際の留意すべき事項として、平成30年5月31日付け、「平成30年度 職員の健康管理対策の取り組みについて」では、従事事務内容の具体的明記を求めているが、具体的な従事事務内容の記載が無く、事前命令、承認が繰り返し行われているものを見受けた。

所属長は、時間外勤務の事前命令にあたり、従事する業務が時間外業務として行う必要性の有無を把握する必要があるので、周知徹底を図られたい。

- 3 備品の管理では、備品番号、品名、設置場所、取得年月日等を備品台帳一覧表（所属別）で確認したところ、庁舎の耐震補強等整備に伴う設置場所の移動を見受けた。また、外部施設に設置されている備品の管理意識が弱かった。

今後においても、執務室、会議室等の移動が予定されているので、外部施設も含めて物品の管理状況を定期的に把握されたい。

- 4 平成28年度から実施してきた公用車運行日誌の閲覧は、全所属の確認を終えたところである。

今後においても、公用車運行時のトラブルを未然に防ぐため、運行日誌として整理、保管されたい。